2021年（令和3年）
第21号
（12月10日）

平安だより

HEIAN letter

発　行　所：立正佼成会　京都教会
発行責任者：渉外部長　田中規之
編集委員長：渉外広報　植田恭司
〒605-0041　京都市東山区三条東町 230
TEL (075)762-2211　FAX (075)762-2266

世界宗教者平和会議　創設 50 周年式典　～発祥の地で開催～

各国の宗教指導者で作る世界宗教者平和会議(WCRP/RfP)の創設50周年を記念する式典が11月24日、京都市左京区の国立京都国際会館で開かれ、仏教や神道、キリスト教やイスラム教など国内の宗教関係者ら約 350 人が同会議発祥の地に集まりました。気候変動や武力紛争など世界の諸問題解決に向けて祈り、行動する決意を新たにしました。

京都教会をはじめ全国からも会員が参加し、中村教会長は教団参務として出席し、諸先達追悼の祈りでの献花も行いました。

式典は新型コロナウイルスの影響で WCRP 日本委員会が 1 年延期して開きました。日本委員会の庭野会長は開会挨拶の中で「京都は WCRP 発祥の地。数々の困難を超え、世界大会を実現できたのは先達の熱い情熱と深い祈りがあったからこそ」と述べ、活動の発展を誓いました。

2 部の基調講演では、人類学・霊長類学者の山極壽一氏と宇宙飛行士の山崎直子氏による講演が行われました。その後、大西英玄氏（音羽山清水寺成就院住職）をコーディネーターに、4 名のパネリストともに科学技術が進展する中、宗教界の葛藤や求められる役割などについて両氏と宗教者が意見を交わしました。

最後に、今後 10 年の日本委員会の方向性を示す「アジェンダ 2030」を発表。①世界の宗教ネットワークの強化、②気候危機の被害を受ける人たちとの連携、③核兵器廃絶に向けた活動、④経済格差の解消に向けた経済界との対話、⑤地域の草の根コミュニティ活動の強化、⑥慈しみの実践が重視される宗教活動の実施、の６項目の重点を設定し社会課題の変化に対応し祈りを中心とした行動を展開する方針を掲げました。

「ありがとう」コンクール　～力作の応募多数～

今年で１０回の節目となる「ありがとう」コンクールとなりました。昨年より７件多い、３９件のご応募があり、同委員会による選考の結果、最優秀作品１点、優秀作品４点が選考されました。優秀作品の作者に対し、中村教会長から記念品が贈呈されました。

なお、応募者の約半数（１９件）が右京支部の会員の作品であり、ひとえに支部担当の中野進一郎委員（副委員長）の奮闘の成果でした。

優秀作品選考にはもれましたが、応募作品の中には、絵手紙風のものや、有難い思いのたけをたくさん語られたもの、作品の背景などの説明を含めたものなど、力作が多かった今回のコンクールでした。

最優秀作品
・「ありがとう」と　思える心は　おかげさま
　　板野記代子（右京支部）

優秀作品
・あなたとの　幸せつなぐ　ありがとう
　　竹岡千賀（中央支部）
・あの時の　苦があればこそ　今がある　ありがとう
　　桂田佐季（中央支部）
・「ありがとう!!」と素直に言える私に育ててくれた
　両親に感謝でありがとう　　近藤安世（右京支部）
・ありがとう　一期一会に　花添える
　　松井孝予（乙訓支部）

令和３年、私たちは「どこでも道場　祈り祈られ　笑顔と涙によりそおう」を実践して参ります。

京都教会のホームページが出来ました。https://rkk-kyoto.jp/